

事業体名	横浜市水道局		事例番号	No.2
協力先水道事業について			情報年	2017
協力先事業体	トゥア・ティエン・フエ省給水株式会社 [*] /Thua Thien Hue Water Supply Joint Stock Company (略称: HueWACO)			
協力開始年	2003年～			
給水区域	フエ省			
給水人口	98万人 (うちフエ市 35万人)	水道普及率	全域 83.0% (フエ市 99.5%)	
平均給水量	都市部: 不明 地方部: 不明 計 13.2万 m ³ /日	最大給水量	200,000 m ³	
1人1日当たり 水使用量	125 L/人/日	無収水率	約 11.5%	
主要水源	地表水(河川)	管路延長	3,450km	
浄水施設数	30カ所	水道職員数	550人	
主な浄水 処理方法	急速ろ過(都市部) + 塩素消毒			
水道料金	平均 0.37ドル * 料金制度は、家庭用、行政機関用、商業用の3種別。 * 郊外部は約1割、貧困層は約2割の減免あり。			
協力先事業体【ベトナム国フエ省水道公社】への協力実績				
協力の経緯や 背景	<p>2003年からフエ省水道公社への技術協力に取り組み、フエ省全域において蛇口から直接水を飲める「安全な水宣言」(2009年)の実現に寄与した。その後も複数のJICA事業を実施し、2017年からはフエ省水道公社と二者間の覚書を締結し、技術協力を継続している。</p> <p>1.JICA 草の根技術協力事業「水道事業経営改善計画」(2003—2006) 水道事業体双方の職員の受入と派遣を通じて、技術・事務両面から問題点の洗い出しを行い、意見交換をもとに水道事業を経営改善できる職員を育成。</p> <p>2.JICA 技術協力プロジェクト「ベトナム国中部地区水道事業人材育成プロジェクト」(2007-2009) 水質管理、配水管理、人材育成、顧客サービスなど様々な分野での技術協力を行い、2009年8月のフエ省全域での『安全な水宣言』の実現に寄与。</p> <p>3.JICA 技術協力プロジェクト「ベトナム国中部地域都市上水道事業体能力開発プロジェクト」(2010-2013) フエ省水道公社での成果である「水安全計画」実施を周辺の中中部地域 17 省に広げるため、中部水道訓練センターの立ち上げや水道事業の運転維持管理に係る運用ハンドブックの普及促進に取り組み、対象地域水道事業体の人材育成モデル構築に寄与。</p>			

4. JICA 草の根技術協力事業（地域経済活性化特別枠）「横浜の民間技術によるベトナム国『安全な水』供給プロジェクト」（2013－2016）

横浜水ビジネス協議会会員企業が有する技術を生かした、ベトナム中・南部地域の水道事業体の水道事業経営の健全化、「安全な水」へのアクセス率の向上を目指し、事業を実施。



SCADA システム導入支援



漏水調査の研修

5.ベトナム水道事業体等との技術協力に関する覚書

（2009－2012、2012－2015：4機関、2015－2018：6機関）

横浜市水道局は、2009年8月にベトナム国フエ省水道公社、ホーチミン市水道公社、建設省建設第二学校南部水道訓練センターの3機関と約3年間の技術協力の覚書を締結。この覚書に基づき、双方の人材育成と能力向上に寄与することを目的に、研修員の受入・セミナー講師の派遣を中心とした活動を通して、ベトナム国の水道事業のレベルアップを支援。



セミナーの様子（平成29年7月開催）

2014年11月にはこの覚書を3年間更新し、さらに2015年7月には、ダナン市水道公社、建設省都市建設学校中部水道訓練センターを加えた6者覚書に拡大。

<p>協力体制</p>	<p>主な関係機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム側：フエ省水道公社 ・日本側：横浜市水道局および横浜水ビジネス協議会からの参加企業
<p>協力事業体の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでフエ省水道公社に伝えた技術のベトナム中・南部地域の水道事業への展開。 ・フエ省水道公社職員のさらなる人材育成。 ・日本の企業との関係構築。そのために、15年に及ぶフエ省水道公社と横浜市水道局の関係を活かした、公民連携によるベトナム水道事業の課題解決に取り組んでいる。
<p>支援内容</p>	<p>「フエ省水道公社との二者間の覚書に基づく事業」（2017/7/6～2019/12/31）</p> <p>横浜市水道局とフエ省水道公社は、両者の水道事業の発展と横浜水ビジネス協議会会員企業のビジネス支援を目的に、2017年7月に覚書を締結した。同覚書に基づき、研修員の受入や講師の派遣、展示会やセミナーの開催、出展等を通じて、次の取組を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄水場の改善計画支援 ・研修センターの設立支援 ・水道記念館の建設支援 ・横浜水ビジネス協議会会員企業のビジネス展開のための機会提供と支援
<p>今後の支援に向けた課題や展望</p>	<p>フエ省水道公社等との対話を継続しながら、ベトナムの水道事業の改善に、公民連携によりどのような貢献ができるか検討していく。</p> <p>本事業の成果を公民連携による国際協力の先行事例として横浜水ビジネス協議会会員企業とも共有し今後の会員企業の取組に生かす。</p>